

る建築界の意氣今何處にありや、さいふこころを感じてゐた時に當つて、私は、これは何か覺醒せしむべき刺戟が來なければならぬと思つてゐた、その矢先、彼の大震災が忽然として來た。罹災者にまつて一大悲惨事ながら人間社會にまつて大警告を與へられたのである建築界にまつては千古絶對の教訓であつた『こんなやり方ではいけないぞ』さいふ叱咤の激勵であつた。天來の——。

× × ×

當時説をなす人々のうちにはやはり私も同様な考への人もあつたやうであつた、即ち『これを天譴ご思へ』さいふやうに。然し人々のうちでは『ナニ地震は宇宙の自然現象だ、人間は人間だ地球の地殻の變動に過ぎないものを擬人法を使つて天譴ごみるのは不賛成だ』さいふ人もあつた。けれどもそれはたゞ人間の考へ方一つにある、これを天譴ご思つて將來に向つて改革を期するさいふこころは決して悪いこころではないし閑事業ではない、改革を期するこころに進歩がある、よりよき生活への段階である。

で、大震災後は卒然として心機一轉した、警視廳では建築條令の限度を高めた。従來建築業者は自身の經濟的利益のためのみに安全律を無視してゐたのではなかつた、それは建築法の許す範囲内に於て簡単に仕上げてゐたつまり建築法で許してゐるから、かうしても差支へない、さいふのであつた。警視廳方面でも『これ位でいいだらう』位で許して『ゐたのである。それが大震災によつて『これ位でいいだらう』位ではいけないご知つたのである。

× × ×

建築界に於ても『これではいけない』ご痛感した、注文者の方でもたゞ一時を糊塗するに等しい従來のものではいけないご悟つた、堅實確固なるものを造らねばならぬご覺つたのである。かうして大震災の復興はなされつある、吾々建築業者は、具さに仕事を念を

入れ、今後、這般の大震災よりも二倍三倍もの大震災が來るかも知れない、そんな時でも崩壊しない程度のものを造るやうになつた、地震の程度は人智では到底計り知られない、故に極度に堅牢なのが必要である、地球が炸裂すれば仕方がないが、一面が陥没したり、顛覆したりしたごても、倒れるかは知らないが微塵に崩壊などはしないやうに工事をしてゐるのである。

× × ×

私は復興の途上にある現状をみてかく想ふ成程大震災の慘害はさるこころながら、彼の大震災が比較的早かつたごころは欣幸ごしなればならぬ。若しあれが、五年十年後、或は五十年百年後に突發したごしたならばごうであらう。その頃は従來の浮薄なる砂上の文明がもつごもつご般盛ごなつた揚句、彼の大震災よりも數十倍の慘害を蒙るであらう。ありごあらゆる建築物は崩壊する、それに準じて人の財は灰燼に歸する、人命は何十萬ごいふ犠牲をはらう、やうなごころになるごころは單なる想像のみではないご想ふのである。

まだまだ砂上樓閣の文明程度が低調だつたからよかつた、その被害を少きに止めるごころが出來た。思へば天譴の早かつたごころをせめても感謝をしたい。

橋の大阪……………千五百橋

天明間に大阪の橋は 155 橋もあつて、さすがに水の都、日本一の橋の都であつたが、現在に於ては堂々たる不燃質の永久橋に片つばしかから改築され、昔のおもかげもないとは云へ其數に於てはやつぱり日本一である。

× × × ×

大正十五年六月大阪市土木部の調査によると大阪市内で土木部所管の橋が 1472 橋その長さは總計 40 里と云ふ數。

この外に電氣局所管の橋が 122 と港灣部所管の橋が 11 ある。

都市計畫部が以上の外にまだ近代的な長大な橋梁を幾つも架設しつゝあるから、數年後の大阪の橋は又一層の壯觀であらう。